

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
24501	医療保険実務演習 Practice in Medical-Insurance Processing	木下秀兆		専門	1	選択	2前期

**科目の概要**

医療技術の高度化やIT、AI技術が進む中でも医療現場においては最終的な確認は人間の目で行うことが必要です。その中で医療事務に対する専門性と必要性は高く評価されています。医療保険制度のしくみの理解と診療報酬請求事務に関する知識を修得し正確なレセプトを作成できる能力を身につける。  
ディプロマ・ポリシーの②、⑤に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① 医療保険制度の概要（社保、国保、後期高齢者医療、公費負担、労災、介護）を学習する。 ② 医療事務の基礎知識（接遇、受付、会計、請求）を学習する。 ③ 診療行為ごとの診療報酬算定ルールの基礎を学習する。 ④ 診療報酬明細書（レセプト）の作成方法を学び診療報酬請求ルールを学習する。	① 医療保険制度の仕組みを理解し、説明することができる。② ② 医療事務の概要・基礎知識を理解し、説明することができる。② ③ 基本的な診療行為ごとの診療報酬算定を行うことができる。②、⑤ ④ 診療報酬明細書（レセプト）を問題解決しながら、正しく作成することができる。②、⑤

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	受け身の姿勢ではなく、自発的に学習に取り組むことができる。 他者に流されず、学習意欲を持ち最後まで取り組むことができる。
	働きかけ力	理解不足の項目について、どこがどのように理解不足かを判断し、積極的に質問することができる。 周囲の人に対して積極的に働きかけ、共に学習を進めることができる。 自分の欲しい解答にたどり着くために、具体的に質問することができる。
	実行力	自分の力（知識）で点数算定し、レセプトを完成させることができる。 何度も繰り返す持久力を持ち、努力することができる。
考え抜く力	課題発見力	苦手な分野を自覚し問題点を解決するために行動を起こすことができる。 理解するために理論的に分析し、積極的にその分野に関する情報を収集することができる。
	計画力	計画性をもち、実施したことに対しての評価と見直しを常に行い、実行するための計画を作成することができる。 前進するだけでなく、振り返りを行い、柔軟に計画を修正し、進めることができる。 1つ1つに取り組むための短期的な計画を作成することができる。
	創造力	自分が取り組んでいることに好奇心をもち、いろいろな観点から物事をとらえることができる。 解決策を別の方向からも検討し、自分なりの解決策を生み出すことができる。
チームで働く力	発信力	相手に理解してもらえよう、どう話したら相手に伝わるかを考え、話し方を工夫することができる。
	傾聴力	相手の話していることに対して意味を考え、何を伝えているのかを理解することができる。 人の解釈と自分の解釈が異なる場合は、そのままにせず確認することができる。
	柔軟性	人との違いを受け入れ、理解することができる。 他者の意見を取り入れることで、結果は同じでも答えにたどり着く道筋は1つではないことを知ることができる。
	状況把握力	今、自分はどの位置にいるのかを把握し、自分の目標に向かって足りない部分を強化することができる。 他人と比べず、自分のやれること、やれないことを理解し自分のペースで進めることができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	間違えることを怖がらずに、積極的に発言することができる。 いろいろな人と話をし、相手の考え方や立場を知ること、1人ではないと理解することができる。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：（財）日本病院管理教育協会指定テキスト

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：医療保険制度  
資格との関連：医事管理士・医療管理秘書士

学修上の助言	受講生とのルール
医療保険制度（1年後期）で学習した内容を復習しつつ、具体的なレセプト作成の知識を身に付ける。 復習を重要な位置付けとし、学習した内容を繰り返し行うこと。	毎回の授業の積み重ねになるため遅刻、欠席をしないこと。 わからないことは、解消できるよう何度でも質問すること。 携帯電話の電源は切り、カバンの中に入らないこと。 欠席した場合は自主学習を行い、理解不明な箇所は質問し、理解できるように努力すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓			①医療保険制度の概要を理解しているか。 ②各項目の算定ルールをよく理解し、根拠に基づいて解答できているか。 概要や算定ルールの理解度を図る問題を中心に出題し評価する。	
				②	✓				
				③	✓				
				④					
	平常評価	小テスト		30	①	✓			小テスト及び作成した診療報酬明細書（レセプト）の提出。 出題範囲は各時点までの授業で学習した内容とする。
					②	✓			
					③	✓			
					④				
		レポート		0	①				
					②				
③									
④									
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①					
				②					
				③					
				④					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。（規律性）</li> <li>・「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。（傾聴力）</li> <li>・高い評価を得られることを目標とし、自発的に取り組むことができる。（主体性）</li> <li>・自分の苦手分野を見つけ自覚することができる（課題発見力）</li> <li>・最後までやり抜くことができる（実行力）</li> <li>・固定観念にとらわれずいろいろな方向から考えることができる（創造力）</li> <li>・自分の意見を他者に的確に述べるることができる（発信力）</li> </ul>		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>○S（秀）の目安：筆記試験において9割以上の点数を取得し、診療報酬を正しく算定ことができ、診療報酬明細書の記載ルールを理解し、正しく作成、説明することができる。</p> <p>○A（優）の目安：筆記試験において8割以上の点数を取得し、診療報酬を算定ことができ、診療報酬明細書の記載ルールを理解し、正しく作成することができる。</p>	<p>○B（良）の目安：筆記試験において7割以上の点数を取得し、診療報酬算定が概ねでき、診療報酬明細書に記載することができる。</p> <p>○C（可）の目安：筆記試験において6割以上の点数を取得し、診療報酬算定が6割程度でき、算定したものを診療報酬明細書に記載することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	医療保険制度の復習とレセプトの記載方法を学習する。	講義 PCと口頭にて、被保険者証の記載内容と医療保険の種類を確認し、レセプトの記載方法を全体にフィードバックする。	保険情報の解釈が正しく理解でき、正しい情報をレセプト記載でき、説明することができる。	(復習) レセプトの上書きを練習すること。 (予習) テキスト(請求事務の概要)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
2	請求事務の概要 請求事務の全体像を学習する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	医療機関内における請求事務の流れを理解し、全体像について説明することができる。	(復習) レセプトの上書きを練習すること。 (予習) テキスト(診察料)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
3	初診・再診 診察料のレセプト記載について学習する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	診察料の区分と算定方法を理解すると同時に正しいレセプト記載ができ、説明することができる。	(復習) 診察料のレセプト記載法を復習すること。 (予習) テキスト(医学管理・在宅)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
4	医学管理・在宅 管理料のレセプト記載について学習する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	医学管理・在宅の種類と特徴を理解し、正しい点数算定とレセプト記載ができ、説明することができる。	(復習) 管理料のレセプト記載法を復習すること。 (予習) テキスト(投薬)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
5	投薬 投薬料の算定についての原則を学習する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	投薬の区分を知り、算定方法を理解し、説明することができる。	(復習) 投薬の算定ルールを復習すること。 (予習) レセプト作成について、テキスト(投薬)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
6	投薬 投薬料全体のレセプト記載について理解をする。	レセプト作成 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	投薬の特徴と区分の理解と同時に正しい点数算定とレセプト記載ができ、説明することができる。	(復習) 投薬のレセプト記載法を復習すること。 (予習) 上書きから医学管理・在宅まで一連のレセプトを作成すること。	90	主体性 実行力
7	投薬までのまとめ 前回までの各項目の特徴と正しい点数算定について理解を深める。	レセプト作成 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	6週までの各項目に関する特徴を理解すると同時にレセプト作成の基本を説明することができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認すること。 (予習) 上書きから投薬まで一連のレセプト作成をすること。	90	課題発見力 発信力
8	復習(確認) 前回までの各項目の種類と算定方法の理解を深める。	PCとプリントを使用して小テスト 授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	上書き～投薬までの診療の流れを確認し、正しい点数算定とレセプト記載ができ、説明することができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認すること。 (予習) テキスト(注射・処置)を読むこと。	90	課題発見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	注射・処置 注射・処置の算定についての原則を学習する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	注射・処置の種類と算定方法について理解し、説明することができる。	(復習) 注射・処置の算定ルールを復習すること。 (予習) レセプト作成について、テキスト(注射・処置)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
10	注射・処置 注射・処置のレセプト記載について理解をする。	レセプト作成 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	注射・処置の正しい算定方法とレセプトの記載方法が理解し、説明することができる。	(復習) 注射・処置のレセプト記載法を復習すること。 (予習) テキスト(手術・麻酔)を読むこと。	90	主体性 実行力
11	手術・麻酔 手術・麻酔の基本的な考え方を理解する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	手術・麻酔の区分とその種類について理解し、説明することができる。	(復習) レセプトを作成すること。 (予習) テキスト(検査)を読むこと。	90	傾聴力 規律性
12	検査 検査の基本的な考え方を理解し、レセプトの記載方法を学習する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	検査の区分と種類について理解し正しいレセプト記載ができると同時に説明することができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をすること。 (予習) 実際にレセプト(検査)を作成すること。	90	傾聴力 規律性
13	検査までのまとめ 前回までの内容の理解を深める。	レセプト作成 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	12週までの各項目の特徴と内容を理解し正しいレセプト記載について説明することができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をすること。 (予習) テキスト(画像診断)を読むこと。	90	主体性 課題発見力
14	画像診断 画像診断の基本的な考え方を理解し、レセプトの記載方法を学習する。	講義 PCと口頭にて、授業の開始時に前回授業内容を確認、全体にフィードバックする。	画像診断の区分とその種類、算定方法を理解し、正しいレセプト作成ができると同時に札幌することができる。	(復習) 画像診断のレセプト記載法を復習すること。 (予習) 上書きから画像診断まで一連のレセプトを作成すること。	90	傾聴力 規律性
15	総復習 診療報酬全体の総復習をし、理解する。	オンデマンドでの課題 出題 解説と注意事項を全体にフィードバックする。	レセプト作成における特徴と正しく記載し、理解すると同時に説明することができる。	(復習) 出来なかった項目の再確認をし、課題を実施し提出する。	90	課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力